

ひだまり



MOTHERTH

MOTHERTH NURSINGHOME FOR THE AGED

今期の事業計画から

～パーソンセンタードケア～

社会福祉法人マザアス理事長
マザアス東久留米施設長
高原 敏夫

法人の「中期基本計画」の一つに、「認知症高齢者へのケアレベルを向上させる」があります。具体的な行動として、平成23年1月に職員に「一人一行動」への提案をしました。その内容は認知症に関する「専門書を購入して熟読する」「講習会・研究会等に参加する」「ケアに関する資格を取得する」「研究を継続して研究大会・学会等で発表する」「先進的なケアを実施し、評価の高い施設を見学する」「グループホーム一日体験入居する」等の一つでも行動に移してみませんかということでした。その折、推薦図書として「パーソンセンタードケア」に関する入門書と参考書の二冊を各部署に配布してみました。若し、職員がこれを三年間継続できたら、別の世界が拓かれていることを夢見て。



今年度が提案から三年経過することになります。

「集団的ケア」から「個別ケア」へ、「職員の計画が優先するケア」から「利用者の生活に合わせたケア」所謂「寄り添うケア」へとケアの考え方方が変化してきました。

私共も変化の流れの中で「個別ケア」を追い求めて試行錯誤している時に、イギリスの心理学者トム・キットウッドが1990年代に提唱し、2005年頃から日本にも紹介されてきた「パーソンセンタードケア（その人中心のケア）」が世界中に広まっています。このことによって、認知症介護の基本的な考え方方に触れることが出来た訳です。個人的には、介護の仕事に従事するものにとって、素晴らしい参考書と認識しています。

今年2月17日から2月27日まで日野事業所の職員が、「愛恵福祉支援財團の2012年度海外研修（オーストラリア）」に参加して、このテーマでも講義を受けてきたとの報告がありました。

トム・キットウッドは適切ではないケアの例として「だますこと、能力をつかわせないこと、子供扱い、無視、強要、後回しにすること、差別すること」等をあげています。

また、「認知症の人が何か迷惑となる行動をしても、その人にとってはよいサインを出しているのではないかと考えてみましょう」と介護をする職員や家族にとって納得しやすい内容と表現になっています。

これを提唱した当時の介護が「食事、排泄、清潔といった業務中心の介護が主流だったことを反省」していることにも親近感を抱くものが多いのではないでしょうか。

東久留米事業所では、今年度中に講師を招いて認知症に関する研修で二つのテーマを計画しており、その一つが「パーソンセンタードケア」となっておりますので、ケアの点検の機会となるのではないかと期待しております。

※平成25年5月31日付でマザアス東久留米施設長を退任しました。

新年度に向けての抱負

高齢者福祉総合施設マザアス日野
施設長 衣川輝夫

施設の良し悪しを決めるのは、利用者と家族並びに地域住民の満足度です。施設の大きさでもなく、そこでなされるプログラムの多様さでもなく、ましてやその施設が多くの収益を上げていることでもありません。それは利用者、家族をはじめとする関係者の満足度にあるのだと。そしてその満足度を高める源こそは、そこで働く人々の質と、それをシステムとして提供できる体制にかかっているのではないでしょうか。ここから見えてくることは、理念をベースにした人材養成と、サービスの質を継続的に改善し続けるマネジメントではないでしょうか。私たちの法人が今年度目指しているのは、人材養成の一環として、「プリセプター制度」の立ち上げと「認知症高齢者へのケアレベル向上」、またサービスの質改善のマネジメントとして「ISO9001認証取得」です。わたしはまた、継続的な課題として、「看取り介護」の充実を目指したいです。多くの高齢者は病院で最期の時を過ごされる。そこは必ずしも高齢者が最期の時を過ごすに相応しい場所とは言えない。マザアスの入居者には是非マザアスで最後の時を過ごして欲しいと言える体制を作っていくたい。「看取り介護」は去りゆく者への深い哀悼と、それを見守る者たちの信頼の上に成り立つものです。あなたも私もやがては去りゆく者です。



宮城学院女子大学名誉教授山形孝夫氏はある本のインタビューで次のように言っています。「悲しみの極限は、愛する人との死別の悲嘆。その悲嘆にいかに向かい、いかに寄り添うか。…寄り添うことは、悲しみを記憶し続けることだと考えています。死者を記憶し続けるということ。それが死にゆく者への「別れの言葉」としています。私は忘れない、あなたがいかに生き、いかに学び、いかに人を愛したか。あなたの悲しみを忘れない…と。」深い哀悼とはそのようなことです。そしてマザアスにはその深い哀悼を表すことのできる風土を作りたい。昔、家族で去りゆく者を囲み、涙しながら見送ったことを、「終の棲家」となっている施設で行いたいというのが願いです。よき施設を目指します。ご支援をお願いいたします。



中国から来訪：4/3



中国吉林省から来訪された方々は10名です。全員が有料老人ホーム経営者でオーナーということでした。社会福祉法人アドベンチスト会シャローム横浜は中国厚生省老人部会と友好協定を結んでいて、お互いの交流の一環で来訪されました。今回は東京にある老人施設を見学したいということで、シャローム東久留米とマザアス東久留米を訪問されました。写真はマザアス東久留米を訪れた時の様子です。



今期の方針から

地域密着型複合施設マザアス新宿
施設長 松澤雅子

～サービス～

開設4年目を迎え、マザアス新宿は、落ち着いた雰囲気と穏やかな日常が感じられる場所になりました。各事業とも、利用者ニーズと満足度を意識したサービス提供に努めており、事業間・職種間の連携を図って複合施設の利点を活かした支援も行えるようになってきました。医療的ケアや看取りケア等のニーズの高まりに十分応える事が出来るよう“専門職として”の“支援の質”を高めていきたいと思います。



～地域～

マザアス新宿周辺は高齢者のひとり暮らしや高齢者だけの世帯の方が多い地域ですが、自治会や町会の活動が活発で、高齢者福祉に積極的な民生委員も多く、人と人がつながりやすい土壌があります。非常時、災害時等の支援体制や協力関係の構築なども視野に入れながら、今期も継続して地域と交流を深め、地域の社会資源としての役割を發揮出来るような取り組みを行っていきます。

～経営～

事業活動による収支はかろうじて赤字を出さずに済みましたが、建築時の設備資金借入金を返済するには、相当の経営改善を図らなければなりません。高利用率の維持や経費削減など具体的な改善策の他、事業ごとに経営状況を“見える化”し、改善に向けて職員一丸となって取り組む事が今期の重点課題となります。

※平成25年5月31日付でマザアス新宿施設長を退任し、6月1日付でマザアス東久留米施設長に就任しました。

法人ボウリング交流会：4/26

はじめての試みとして法人の3施設が「こころも一つになろう！」とボウリング交流会を催しました。開催場所は3施設が集まりやすい場所として高田馬場シチズンプラザで行いました。大歓声の中、理事長の始球式で始まり総勢52名が参加しました。ボウリングの後は親睦バイキングでさらに盛り上がり表彰式でクライマックスを迎えるというシナリオでした。企画委員会にはうーんと脱帽でした。



韓国「平安の家」訪問：4/12-15

韓国「平安の家」で国際交流協定を交わしてから、職員の交流として法人から5名が初の訪韓となりました。想像していた以上の歓待を受け、多くのことを学ぶことができました。また前回来訪してくださった方々と再会した時は、感激で胸がいっぱいになり言葉に詰りました。恥ずかしながら訪韓して初めてその友情に感謝した次第です。多くの方々と交流を深めることの大切さを学びました。またの来訪を心待ちにしています。この場を借りまして心から御礼申し上げます。

4/12:ヨンイン市老人福祉会館を訪問



4/13:「平安の家」チャムサラン専門療養院訪問



4/14:「平安の家」ダサラン療養院訪

← 4/13:午後から
韓国民俗村を見学4/14:ダサラン訪問 ⇒
の時に民族衣装で
歓迎を受けました。

- チャムサラン専門療養院は2003年9月開院

- ・定員170名で4階建

- ダサラン療養院は1983年開院

- ・定員68名。

「平安の家」の理念で「共に生きる」の意味は、利用者は受けるだけでなく、わたくしも誰かのために何かができる。ということが込められた理念である。

目から鱗でした。

4/15：午前中は3日間の研修のカンファレンスをしました。お互いに得るものが多く、意見交換も時間切れとなるほどでした。

平成24年度「施設内研究発表会」

マザアス日野より

非常食に特化した防災訓練を行って

防災委員会・栄養課

キーワード

大地震があっても 私たちは死なない 利用者を死なせない
みんなで生き残る 生き延びる

研究の概要

大震災を経験した私たちのこれからの災害訓練は、ある程度予算をかけても、より具体的な、より実効性のあるものが必要である。非常食に特化した防災訓練を栄養課と防災委員会で実施、検証した。



取り組んだ課題

- 非常食は栄養士が管理し、災害時にただ出せば良い、というものではない。それを利用者に提供する介護職員の協力があってこそ意味をなす。
(本当に利用者一人ひとりにきちんと提供できるのか)を検証する。

目標と期待する効果

- 介護職員に非常食提供に関する意識付けを行いたい。

具体的な取り組

- 震災直後でガス・電気・水道等が使用できない状況で、限られた人員でご利用者へ食事提供する訓練を実施。
- 提供する食材・配膳する時間・食事介助のしやすさ・発生するゴミの量・食材の備蓄方法などを具体的に検証。
- 事後に参加者全員からアンケート。



活動の成果と評価

- ご利用者には事前にご家族も含めて説明してあり混乱は見られなかった。
- 提供した非常食は、パックを出せばすぐ食べられる種類を選択。高評価だったが、開封にハサミが必要。
- 衛生管理上、最初から非常食の箱と使い捨て手袋を一緒にしておく必要あり。
- 指示系統のばらつき。事前に訓練のシミュレーションをおこなっているフロアと、そうでないフロアで大きな差が見られた。
- 職員より「当日雷が鳴り、空が真っ暗になってしまい昼間なのにかなり暗かった」「非常食の開封は窓際で行うのが良い」との声。また、「食事よりも排泄介助の方が大変なので訓練が必要」。さらに「自分は実際に重責の中で動けるのか、他の課との連携はどうするのか、ストレスを感じる」「非常時に3食提供は無理」との率直な意見が上がった。

今後にむけて今回の活動のまとめ

- 備品の整備。(ヘッドライト・背負子・手袋・ガスボンベ・水用タンク等)
- 分かりやすい非常食の備蓄場所の確保。
(1~3食分は各フロアにおきたい)
- 指示系統の確立。災害時に防災委員や主任がいるとは限らない。職員全体へ継続した訓練が必要。

小規模多機能型居宅介護

小規模多機能ホーム

発表者：坂本光徳・永井千佳

キーワード

求められるサービスが常に変化する現場で、職員が自分達で考え、行動できるようになるために

研究の概要

小規模多機能型居宅介護では、ご利用者の在宅生活の継続のために「通い」「泊り」「訪問」といったサービスを必要に応じて提供する。そのため、急な受診付き添い、ご利用者の行方不明などさまざまなニーズにその場で対応することが求められ、目の前のルーティン業務をこなすだけでなく、常に各自で考え、行動し、臨機応変に対応出来るようになることが現場職員にとって重要な課題となる。



取り組んだ課題

- 多くの企業では「ピラミッド型組織」を採用し、業務の効率化を図っているが、この組織形態では、臨機応変に対応しようとしても上からの判断待ちで迅速な対応が出来ないことや、トップの命令や指示が組織の末端まで行きとどかないことがある。
- 当事業所においても、開設当初は上からの指示待ちなどがあり、臨機応変に対応することが難しいことがあった。
- 目標である「事業計画」を知らない職員もあり、このことは「ピラミッド型組織」の弊害として、末端にいる現場職員まで情報が行きわたっていないとの表れだった。
- 現場職員で「事業計画」の作成と実施に取り組むことを、職員各自が自分たちで考え行動出来るようになるための第一歩とする。

具体的な取り組み

- サービス提供の要となる「事業計画」を全職員で話し合い、考え、実行、進捗管理する。
 - ①新たに掲げる事業計画についてアンケートを作成し、職員全員から提案をつくる。
 - ②提案した内容を全職員がプレゼンを行い、目標を決定。（平成24年度事業計画「アクティビティの充実」）
 - ③他事業所との合同会議を定期的に開催。
 - ④係による各職員向けの研修を実施。
 - ⑤毎日のケア提供の振り返りと評価。
 - ⑥アクティビティ・ケア充実の一環として、他の小規模多機能事業所との合同カラオケ大会の実現。

活動の成果と評価

- ①ご利用者の好きなアクティビティ活動を把握。
- ②提供するケアの種類が充実。
- ③職員のアクティビティ・ケアのスキル向上。
- ④職員の事業計画への取り組みの意識向上。
- 職員全員が自分たちで考え、計画し、行動し、評価し合うことで、仕事のやりがいや面白さに繋がったと考えられ、そのことでより良い結果をもたらした。

今後にむけて今回の活動のまとめ

- 事業計画に関する事柄には、現場職員は率先した行動が出来たが、それ以外の事柄については、その場での判断が難しく、上からの指示待ちとなってしまうことがあった。
- これには、対応の提案を挙げても実行に至っていない例もあり、失敗や、上司からの指摘を恐れて萎縮している可能性も考えられた。対策として、上司である管理職側からも現場職員が提案をしやすい環境を整え、それぞれの職員の能力にあった権限の委譲をする必要がある。
- 今後は事業計画だけでなく、ご利用者からの様々なニーズに応えられるよう、自分たちで考え、提案し、行動できるように「逆ピラミッド型の組織」を構築していきたい。

アクティビティ・ケアとは

様々な活動を通して活き活きとした日常生活を取り戻すためのケア。運動や音楽などとともにアニマルセラピーや演劇療法、環境調整まで幅広く、ケア内容による変化だけでなく、プログラム内で人と関わりあいを持つようになることで精神的な活性化を促される場合も多い。

新規採用職員オリエンテーション

今年のオリエンテーションはマザアス日野で行われ、3施設で24名の新人を迎える、4月1日～2日に行われました。一日目は自己紹介は勿論、法人の歩みから経営理念、基本理念等。二日目は利用者・家族とのコミュニケーションやマザアスの目指すもの、求められるマナーについての講演を聴き、防災訓練も行いました。



新規採用者

〈マザアス東久留米〉

- | | |
|---------|---------------|
| 1 河野麻央 | デイサービスセンター氷川台 |
| 2 中村明彦 | 居宅介護支援事業所 |
| 3 若林あゆ美 | 特別養護老人ホーム |
| 4 森田俊治 | グループホームおがわ |
| 5 城戸孝次 | グループホームひかわだい |
| 6 糸賀千春 | 東部地域包括支援センター |
| 7 井上英里香 | 特別養護老人ホーム |
| 8 相川桂子 | 居宅介護支援事業所 |
| 9 降矢美弥 | デイサービスセンター大門 |

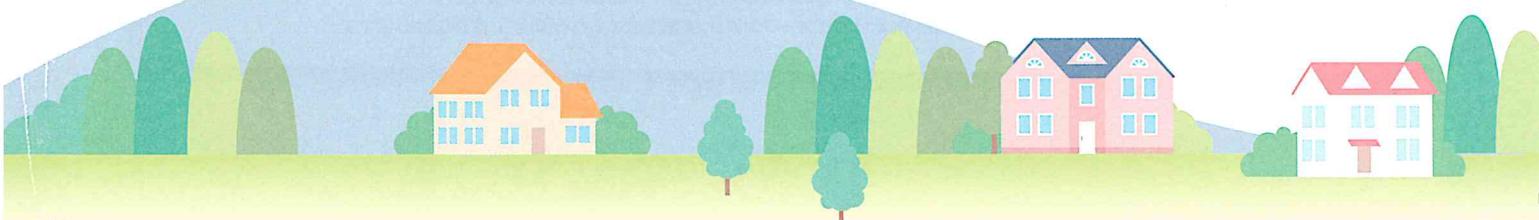


〈マザアス日野〉

- | | |
|--------|-----------------|
| 1 原田将 | 小規模多機能ホームみなみだいら |
| 2 松木涼 | 小規模多機能ホームさかえまち |
| 3 小嶋正人 | 特別養護老人ホーム |
| 4 村野夏未 | 小規模多機能ホームみなみだいら |
| 5 大洲友紀 | 小規模多機能ホームみなみだいら |
| 6 森利典 | 小規模多機能ホームさかえまち |

〈マザアス新宿〉

- | | |
|---------|--------------|
| 1 荒井美穂 | 特別養護老人ホーム |
| 2 永田聰一 | 特別養護老人ホーム |
| 3 稲本絵里 | 特別養護老人ホーム |
| 4 中村慎一 | 小規模多機能ホームさくら |
| 5 小野寺綾夏 | 特別養護老人ホーム |
| 6 三宅悠己 | 小規模多機能ホームさくら |
| 7 柴沼まどか | 特別養護老人ホーム |
| 8 丸山枝里 | 特別養護老人ホーム |
| 9 宇田川睦子 | グループホームつつじ |



デイトピックス

デイサービスセンターマザース氷川台



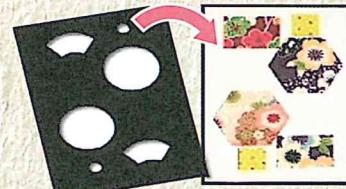
の間(趣味活動)のご紹介



マザース氷川台では、ご利用される皆様が充実した時間を過ごせるよう、5月より趣味活動の場を設けました。陶芸、らくらく型抜きアート、パウダーアートの3種類がありますので、ご希望の方、詳細をお知りになりたい方は是非マザース氷川台までご連絡をお待ちしております。

らくらく型抜きアート(土)

上からかぶせると…



ちりめんを貼った土台に、型抜き済みの本体を重ねると…



※実際に作り頂く際は、赤いひもをつけてから、かぶせます。



7月 七夕

¥600～

型紙に布をはり、土台に貼ります。その上から型抜きボードを貼って完成！

季節によって、絵柄が異なります。

パウダーアート(水)

陶芸(月)



1作品 ¥450～



¥600～

上紙をはがして色の粉をかけ押さえて完成！
季節によって、絵柄が異なります。



0.15mmの細かなラメ素材を色づけした新開発のパウダー(色粉)で作ります。発色もよくラメ素材なので、キラキラしてもキレイな仕上がりになります！

「家族会だより」から
マザース東久留米家族会だより2013.3.24

〈認知症の人と関わる際の心がまえ〉

ご本人にも自覚があることを知ってください。

自分がこれまでとは違うことに、最初に気づくのは本人です。もの忘れによる失敗が増えたりすることで、「おかしい」と感じ始めます。認知症かもしれない、という不安は想像を絶するものでしょう。

その不安が「病院には行かない」「私はもの忘れなんかしていない」という言動など、色々な形となって現れ、周囲の方々は困惑することも多いと思います。「本人にも『認知症かもしれない』という自覚があること、「本人こそが沢山の悲しみや不安を抱えている」ことを知り、その辛さを想像してください。

さりげなく、自然に、手助けをお願いします。

認知症の人にも、健康な人と同じく感情があり、ご本人なりの暮らしがあります。認知症によってこまっていることがあれば、できないこと、わからないことをさりげなく手助けしてください。押しつけず、急かさず、その人のペースで。

家族にも支援が必要です。

大切な身内が認知症であることを、簡単に受け入れられる家族はないでしょう。

また、認知症の介護は、家族の中だけで解決できる問題ではありません。

家族が様々な葛藤の中で認知症と向き合い、認知症の人を支えていくためには、家族に対しても周囲の理解と支援が必要です。

認知症の介護は長丁場。息抜きをし、愚痴を言い合える場所や、認知症をオープンにし、支援を求められる環境も、家族には必要です。

スタッフ紹介(包括・居宅・ヘルパーステーション)

ヘルパーステーション マザアス氷川台(東久留米)

ヘルパーステーションとして開設 18 年目、住み慣れた地域と我が家での暮らし、「その人らしい生活」を基盤に認知症、ターミナルケア、困難ケース等、在宅での身体介護を得意として活動しています。訪問利用者宅へ直行、直帰するのではなく、事務所に立ち寄るシステムを取り、最新状況をケアマネージャーや、他のヘルパーと情報を共有しサービスに繋げています。現在、登録ヘルパー 14 人、サービス提供責任者 3 人。「信頼・安心・満足」していただける訪問介護を目指しています。



ヘルパーステーション マザアス多摩川苑(日野)

常勤 3 名、登録ヘルパー 12 名体制で、高齢者や障害者の在宅支援を行い、地域支援に努めています。



日野市地域包括支援センター マザアス多摩川苑(日野)



居宅介護支援事業所 マザアス氷川台(東久留米)

ケアプランの作成やサービス提供事業者への連絡・手配などのサポートをいたします。



東久留米市 東部地域包括支援センター (東久留米)

保険・医療・福祉サービス、生活に関するご相談にお応えし、高齢者の方の生活を応援いたします。



居宅介護支援事業所 多摩川苑(日野)

居宅介護支援事業所 栄町(日野)

介護キャリア段位制度について 介護キャリア段位制度についてご紹介いたします。

介護職員にとってのメリット

- 共通のものさしで実務能力の評価をし、現場で実際に何ができるかを証明します
- 介護職員のやりがいや処遇改善の材料につながります
- キャリアパスが明確になり、介護分野への人材参入を促します



「キャリア段位制度」とは？

現場で何ができるかを証明できます

介護福祉士、ホームヘルパーなどの資格や研修修了にとらわれず、「現場で実際に何ができるか」が証明できます。具体的には入浴・排泄などの介護技術や、利用者・家族とのコミュニケーション、感染症やヒヤリハットへの対応などで仕事をする中の共通のものさしで評価します。

やりがいや処遇改善につながります

「キャリア段位」の取得を目標に、できていないことを認識して現場で取り組むことによって、やりがいやスキルアップのモチベーションにつなげます。

また給与や評価を決める重要な材料にもなりますので、介護現場の処遇改善につながることも期待された制度となっています。

転職のデメリットを軽減できます

ジョブカードにキャリア段位制度の中で評価された実践的スキルの評価結果を記載して、求職活動に活用すれば、転職の際のデメリットを軽減することができます。

※ジョブカード：職務経歴、学習歴・訓練歴のほかに、職業訓練や職務の中で得た具体的な職務能力などについて、キャリアコンサルタント等が明確化し、客観的に記述し情報をまとめたシート

介護分野への参入を促します

これから介護職を目指す若い世代にとって、**キャリアパスが見えやすくなり、介護分野への参入を促す**効果があると期待されています。

参考文献：リコー福祉新聞3月



鯉のぼりが！



5/1 東久留米の中庭に鯉のぼりが上がりました。ご利用者も中庭に出て鯉のぼりを堪能しました。通りがかりの職員もなぜかこころが癒された初夏の風景でした。

H24年度事業報告

事業活動計算書

勘定科目		当期決算
サービス活動増減の部 収益	介護保険事業収益	2,119,106
	その他の事業収益	0
	障害福祉サービス等事業収益	446
	その他の収益	4,877
	経常経費寄付金収益	3,115
	サービス活動収益計(1)	2,127,544
サービス活動外増減の部 収益	人件費	1,615,093
	事業費	282,683
	事務費	203,875
	利用者負担軽減額	860
	減価償却費	170,570
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-136,811
	徴収不能額	0
	徴収不能引当金繰入	82
	その他の費用	0
サービス活動費用計(2)		2,136,352
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-8,808
サービス活動外増減の部 費用	借入利息補助金収益	18,735
	受取利息配当金収益	58
	その他のサービス活動外収益	18,414
	サービス活動外収益計(4)	37,207
特別減税の部 収益	支払利息	19,087
	その他のサービス活動外費用	8,071
	サービス活動外費用計(5)	27,158
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		10,050
経常増減差額(7)=(3)+(6)		1,243
特別減税の部 費用	施設整備等補助金収益	116,658
	固定資産受贈額	1,700
	拠点区分間繰入金収益	11,250
	その他の特別収益	345
	特別収益計(8)	129,953
特別減税の部 費用	固定資産売却損・処分費	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	114,228
	拠点区分間繰入金費用	11,250
	その他の特別損失	0
	特別費用計(9)	125,478
特別増減差額(10)=(8)-(9)		4,475
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		5,717
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	496,718
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	502,435
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	0
	その他の積立金積立額(16)	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		502,435

役員会の開催

第1回理事会

- 平成23年度事業報告及び決算報告について

第2回理事会

- 規程の制定および改定
- 高額物品買入：マザース東久留米におけるナースコール及び電話交換機買入

第3回理事会

- 理事長及び常務理事の選任について

第4回理事会

- 平成24年度各会計補正予算について
- 平成25年度事業計画（案）及び会計予算について
- 規程の制定および改定
- 高額物品買入：マザース日野におけるLED照明交換工事

貸借対照表

(千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	727,614	流動負債	188,662
その他の事業収益	342,098	事業未払金	99,368
障害福祉サービス等事業	332,945	預り金	9,675
その他の収益	14,955	拠点区分間借入金	27,543
経常経費寄付金収益	1,156	賞与引当金	52,076
	5,094	その他の流動負債	0
人件費	2,169	固定負債	1,050,232
事業費	27,543	設備資金借入金	757,159
事務費	1,660	長期運営資金借入金	197,464
利用者負担軽減額	76	リース債務	10,920
減価償却費	-82	退職給付引当金	84,689
固定資産	5,188,197	その他の固定負債	0
基本財産	4,694,398	負債の部合計	1,238,894
その他の固定資産	493,799	純資産の部	
国庫補助金等特別積立金	126,550	基本金	234,192
徴収不能額	197,464	国庫補助等特別積立金	3,874,480
徴収不能引当金繰入	46,807	その他の積立金	65,810
その他の費用	79,961	次期繰越活動増減差額	502,435
借入利息補助金収益	43,017	(うち当期活動増減差額)	5,717
受取利息配当金収益		純資産の部合計	4,676,917
資産の部合計	5,915,811	負債及び純資産の部合計	5,915,811

「相談・苦情受付記録」による苦情解決件数

2012年度

(単位:件数)

発生部門 施設	特養	ショート	デイ	ヘルパー	包 括	G H	居 宅	その他	小規模 多機能	合 計
東久留米	1	1	4	1	1	1	1	0	—	10
日 野	3	0	2	0	0	0	0	3	0	8
新 宿	1	0	—	—	—	1	—	—	1	3
合 計	5	1	6	1	1	2	1	3	1	21



■特別養護老人ホーム マザアス東久留米

TEL : 042-477-7261 FAX : 042-477-7500
〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

■デイサービスセンター マザアス氷川台

TEL : 042-477-7263 FAX : 042-477-7500
〒203-0004 東久留米市氷川台2-5-7

■ヘルパーステーション マザアス氷川台

TEL : 042-477-7260 FAX : 042-477-0977
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■グループホーム ひかわだい

TEL : 042-477-2150 FAX : 042-477-2150
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■居宅介護支援事業所 マザアス氷川台

TEL : 042-470-1740 FAX : 042-477-0977
〒203-0004 東久留米市氷川台2-6-6

■デイサービスセンター マザアス大門

TEL : 042-470-0065 FAX : 042-470-8024
〒203-0011 東久留米市大門町2-10-5

■東久留米市東部地域包括支援センター

TEL : 042-473-9996 FAX : 042-470-8024
〒203-0011 東久留米市大門町2-10-5

■グループホームたきやま

TEL : 042-477-1525 FAX : 042-477-1525
〒203-0032 東久留米市前沢5-25-14

■グループホームおがわ

TEL : 042-349-0160 FAX : 042-349-0161
〒187-0032 小平市小川町1-113-8

■特別養護老人ホーム マザアス日野

TEL : 042-582-1661 FAX : 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■デイサービスセンター マザアス多摩川苑

TEL : 042-582-1675 FAX : 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■ヘルパーステーション マザアス多摩川苑

TEL : 042-582-1673 FAX : 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■居宅介護支援事業所 多摩川苑

TEL : 042-582-1672 FAX : 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■日野市地域包括支援センター 多摩川苑

TEL : 042-582-1707 FAX : 042-582-1730
〒191-0024 日野市万願寺1-16-1

■グループホーム たまだいら

TEL : 042-589-3668 FAX : 042-589-3669
〒191-0062 日野市多摩平2-13-14

■小規模多機能ホーム みなみだいら

TEL:042-594-5780 FAX : 042-594-5781
〒191-0041 日野市南平3-10-2

■小規模多機能ホーム さかえまち

TEL : 042-582-1801 FAX : 042-582-1802
〒191-0001 日野市栄町2-17-1

■居宅介護支援事業所 栄町

TEL : 042-582-0311 FAX : 042-582-1802
〒191-0001 日野市栄町2-17-1

■小規模特別養護老人ホーム マザアス新宿

TEL : 03-5285-2531 FAX : 03-5285-2535
〒160-0022 新宿区新宿7-3-31

■グループホーム つづじ

TEL : 03-5285-2532 FAX : 03-5285-2535
〒160-0022 新宿区新宿7-3-31

■小規模多機能ホーム さくら

TEL : 03-5285-2533 FAX : 03-5285-2535
〒160-0022 新宿区新宿7-3-31

各施設で開設記念行事が催されました。



マザアス日野
(5/1開設14周年)
花いっぱいの
14周年記念行事



マザアス東久留米
(5/8開設18周年)



ご厚情ご援助を心より感謝しお礼申し上げます。

平成24年度後期寄附者 (2012.10~2013.3)

マザアス東久留米	マザアス日野	マザアス新宿
水上 鉄朗様	三水 美奈子様	匿名 A 様
吉川 孝司様	日野台教会様	匿名 B 様
岡井 三恵子様	糀山 民子様	匿名 C 様
理容市原(業者)様	小林 光男様	加藤 衛様
谷津 真人様		匿名 D 様
林 俊一様		匿名 E 様
世並 正淑様		匿名 F 様
260,000	425,000	425,000
合計 1,110,000		

編集後記 ひだまり No.66

昨年はひだまりのリニューアルがあり、紙面もより見やすく、充実した内容になってきたと実感しています。これからも皆様に喜んでいただけるような紙面でマザアス各施設での活動や歴史を伝える役割に貢献していけるよう頑張っていきたいと思います。（関口 乙彦）